

持続可能なエネルギーの時代に向けて

油及び化学物質流出事故に対する準備と対応への
国際的取り組み

石 油 連 盟
2008年2月21-22日 東京

IPIECA 国際石油産業環境保全連盟

- 主要な環境問題並びに社会的課題について、石油・ガス産業の上流・下流 両部門を代表する唯一の地球規模の連盟
- 国連環境計画(UNEP)の創設に従い、1974年設立のIPIECAは国連との主要なコミュニケーション・チャネルを提供

企業会員



団体会員



産業の動向



- ・ 事業機会へのアクセス
 - 政府統制の増加
私企業及び国営(石油)企業に対して
 - 脆弱な環境
- ・ エネルギーに対する挑戦
 - 持続可能なエネルギーの時代
- ・ 「たそがれ」産業としての認識
 - 労働力の高齢化
 - 基本設備システムの老朽化



どこへービジョン



環境上や社会上の実績
で社会の期待に適合す
るよう改善を成し遂げ
、操業や製品生産を行う
石油・ガス産業



どのように – 達成目標



- IPIECA は地球規模で活動し、以下によりそのビジョンの達成を目指す:
 - 健全な業務慣行と問題解決方法の開発、共有及び推進
 - 知識と理解の促進及び伝達
 - 会員等の産業への従事促進
 - 主要な利害関係者との共同事業実施



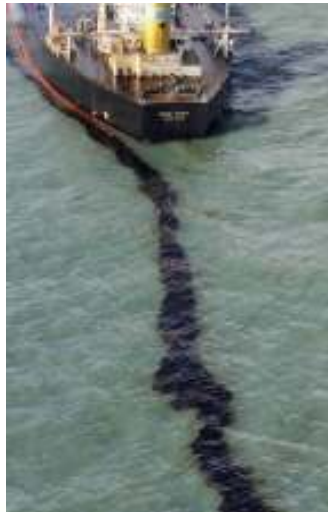
IPIECAのワーキング・グループ



- 生物多様性
- 気候変動
- 健康
- 油流出への準備と対応
- 操業、燃料 および製品
- 社会的責任



韓国の油流出事故



油流出対応: IPIECA のアプローチ



- ・ 国際条約の履行
- ・ 政府と業界の協力
- ・ 段階的対応の考え方の適用
- ・ 科学的な基礎に基づくリスク分析の適用



油流出に関する報告書シリーズ



- 以下に関する優れた技術情報:

- 緊急時対応計画
- 生物学的影響
- 国際的な補償体制
- 国際的な油流出対応資源



- 地球全域に関わる参照事項

- 各種言語への翻訳

GI – グローバル・イニシアティブ



- IPIECAとIMOの共同事業
- 途上国がその海洋と沿岸域の資源を油流出事故のリスクから保護する能力を高めかつそれを維持することを目的とする
- 方法
 - 責任当事者・当局の特定
 - 政府・業界の政策立案者、経営者への影響力
 - IPIECA報告書シリーズ
 - 合同の研修および訓練

GI 地域協働



- ・ 地中海 (Mediterranean)
- ・ 西および中央アフリカ (West and Central Africa)
- ・ 黒海およびカスピ海 (Black Sea and Caspian)
- ・ カリブ海 (Caribbean)
- ・ 東アジア (East Asia)

海洋の課題



- ・ 船舶の就役解除
- ・ アクセス – 海洋保護地域
- ・ 海洋哺乳類 – JIP
- ・ バラスト水
- ・ 外来侵入生物種
- ・ 航行中の排出物質(MARPOL)



持続可能なエネルギーの時代に向けて



- 世界の現状はどうか？
- 持続可能なエネルギーとはどんなものか？
- どのように持続可能なエネルギーの時代にたどり着くのか？



世界は変化している...



- 人口は倍以上の60億になった
- 温室効果ガス排出量は5倍の70億トン(炭素換算)になった
- 年間水使用量は3倍になった
- 年間漁獲高は5倍の1億トンになった
- 世界の三分の一の熱帯雨林が失われた



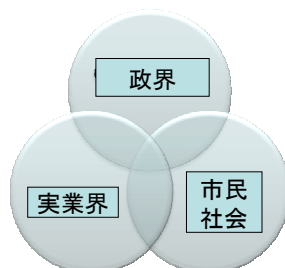
...そして 2050年の世界は



- 90億の人口
- 4-5 倍の豊かさ
- 2倍のエネルギーを使い、効率も2倍で
- 再生可能エネルギーの使用は10倍



つながりのある世界



- 政界はルールをきめる
- 市民社会は環境上 社会上の懸念を反映する
- 実業界はルールを守り 社会の懸念に対応し エネルギー製品に対する顧客ニーズに応えなければならない



People
人民



Planet
惑星



Profit
利益

リーディング・カンパニーにとって
持続可能な発展とは...



- ・ **統合**。環境上社会上の考察を事業計画に取り込む
- ・ **バランス**。短期的優先事項と長期的なそれとのバランスを図る
- ・ **包括性**。利害関係者をまき込み意見の多様化を図る
- ・ **説明責任**。一般への公開報告による開放性、透明性の確保



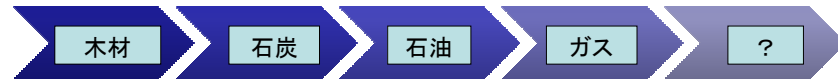
持続可能な発展と言う考え方がもたらす可能性
のある利益には...



- ・ コストの削減
- ・ 新たな事業機会の特定、革新的製品の開発
- ・ プロジェクト・デリバリーのリスク低減
- ・ 政界、雇用予備軍、市民社会の信望を高め、選択の対象となる



エネルギーと輸送の時代区分



持続的発展の旅



- ・ 価値と原則
 - リーダーは、自らのよって立つところを明らかにし、自ら宣明したところをなさなければならない
- ・ 卓越した操業
 - 油・ガス田開発
 - 評価の統合
 - 枯渇に関わる課題
 - 気候変動への対応



持続的開発の旅



- 社会的責任
 - 地域コミュニティ、人権、社会投資との関連
- 新炭化水素資源へのアクセス
 - 深海の石油・ガス、遠隔かつ脆弱な環境での操業、天然ガスの使用拡大、オイルサンド・オイルシェール



持続可能な開発の旅



- 代替エネルギー源の開発進行
 - 輸送用にバイオ燃料と水素
 - 発電用に風力と太陽
- 他部門との共同事業進行
 - 地球規模でのガス・フレア削減構想
 - シェルの国際自然保護連合(IUCN)との生物多様性に関する共同事業
 - IPIECAとUNEPの燃料中の鉛添加の段階的解消事業



持続可能なエネルギーの時代に向けて 必要なものは？



- ・ 増大するエネルギーの充足
- ・ エネルギー安全保障に対処
- ・ 環境への影響、社会への影響を削減



結び



- ・ 全てのエネルギー資源の利用が必須
- ・ 選択が必要
 - 気候変動 vs. 大気の質 vs. 貧困の緩和
 - 食料 vs. 燃料
 - 原子力 – 安全性 vs. CO₂
 - 炭素が少ない世界のライフスタイル
- ・ 諸国政府の協力が必要

革命ではなく段階的変革
過渡的状況と新旧の兼ね合い
そしていつものように混乱を切り抜ける

